

1. 授業の概要(ねらい)

近年の「観光」は多様化し、個人の趣味嗜好によって観光対象となる資源や施設も大きく異なっていることは言うまでもありません。このような状況下にあつて、いわゆる観光施設には、テーマパークやスキー場などレクリエーション施設のように、主としてそれ自身が観光対象となるものと、道の駅、博物館や交通などそれ自身が観光対象となる役割を持ちつつも、主として地域全体の観光を活性化させる「触媒」的な役割を持つものがあります。前者はもちろん、地域の観光にとって重要な役割を果たしていますが、多様化する観光客を全体的に受け入れることが可能で、趣味嗜好にあった観光対象に導いたり、満足度をさらに高めたりする機能を持つことが期待される後者のような施設の役割も重要であると考えられます。

そこで本講義では、後者のような役割を持つ施設を対象として、そのエボクメイキング的な実例を示しながら地域の中でどのような役割を果たしているのか、ということに着目して分析します。そして、さらに地域を活性化させ、施設自体も持続するためにどのような管理運営をしていけばよいのか、ということに踏み込んで考えていきたいと思います。そうすることで、地域が持続できるようになる方策の一つとしての「観光」、いわゆるオルタナティブ・ツーリズムを実現するための一つの側面を導き出すことができると考えられます。

本講義では、地域全体の観光を活性化させる「触媒」的な役割を持つ施設について、その実例を開発するとともに、より具体的な分析を試みていきたいと思います。これら通年の受講で、多様化に対応することのできる「新しい観光」への理解を深められるよう、各回の講義の構成を準備しています。そのため、春学期「観光施設運営管理論Ⅰ」の受講者は本講義も受講することを望みます。

2. 授業の到達目標

①主として地域全体の観光を活性化させる「触媒」的な役割を持つ「観光施設」について基礎的事項を理解し、説明することができる。

②地域経営における「観光施設」の持つ役割について基礎的事項を理解し、説明することができる。

③地域を持続させるために、役割を果たすことが期待される「観光施設」の運営管理手法について基礎的事項を理解し、説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績は以下の3つで評価します。

- ・中間テスト 45%
- ・期末テスト 45%
- ・平常点(出席、リアクションペーパー等) 10%

4. 教科書・参考文献

参考文献

大下茂 (2011)『行ってみよう!と思わせる「集客まちづくり」の技術』 学陽書房

岡本伸之(編) (2013)『観光経営学(よくわかる観光学1)』 朝倉書店

林清(編) (2015)『観光産業論(観光学全集第6巻)』 原書房

5. 準備学修の内容

講義で毎回使用するプリントは、空欄が設けてあります。各回講義前にLMSに掲示しますので、事前に内容に目を通し、自分で調べながら可能な限り埋めておいてください。授業では正解を示しながら、プリントに沿って進めていきます。また、そのプリントの末尾には例題(論述)を示してありますので、必ず講義終了後に自分の力で記入しておいてください。この予習と復習を行うことで、講義内容を十分に理解できるように配慮しています。なお、正解を示したものについて、LMSへの掲示、印刷物の配布は行いませんので注意してください(もちろん、質問は受け付けます)。つまり、欠席は言うまでもなく、単に出席しているだけでは、内容理解に到達できず、単位取得につながらないことを留意してください。

観光施設の様々な面をみていくなかで、関連するトピックス等も適宜簡単に紹介していくこととしますが、各自の関心ある事項についてはより深く調べてみるなど、時代背景を多面的に捉え理解を深めていく探求心を培ってください。

6. その他履修上の注意事項

基本的には配布プリントに基づいた講義とし、適宜パワーポイントを活用します。参考文献は、上記の他にも授業のなかで必要に応じて適宜紹介します。授業内容は修正する場合もあるほか、必要に応じゲストスピーカーを招聘します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 都市観光①～集客力開発手法～
- 【第3回】 都市観光②～運営管理手法～
- 【第4回】 公共的施設(博物館・美術館・入口頭)①～集客力開発手法～
- 【第5回】 公共的施設(博物館・美術館・入口頭)②～運営管理手法～
- 【第6回】 高速バスターミナル①～集客力開発手法～
- 【第7回】 高速バスターミナル②～運営管理手法～
- 【第8回】 まとめと【中間テスト】
- 【第9回】 歴史・文化的環境①～集客力開発手法～
- 【第10回】 歴史・文化的環境②～運営管理手法～
- 【第11回】 農村環境①～集客力開発手法～
- 【第12回】 農村環境②～運営管理手法～
- 【第13回】 地方鉄道①～集客力開発手法～
- 【第14回】 地方鉄道②～運営管理手法～
- 【第15回】 まとめと【期末テスト】